

Ⅱ. 2. 学術交流・国際研究活動等

○学術交流協定（令和2年3月31日現在）

<言語文化専攻>

大学名	国名	協定締結年月日	期日	授業料相互不徴収規定
ロシア極東連邦総合大学	ロシア連邦	2017/4/18	2022/4/17	○
ウラジオストク国立経済サービス大学	ロシア連邦	2015/12/18	2020/12/27	—
トゥルク大学	フィンランド共和国	1998/11/17	—	—
ヴィータウタス・マグナス大学人文学部	リトアニア共和国	2012/10/25	2022/10/24	—

<言語社会専攻/日本語・日本文化専攻>

大学名	国名	協定締結年月日	期日	授業料相互不徴収規定
ペルージャ外国人大学	イタリア	2019/7/9	2024/7/8	—
テヘラン大学	イラン・イスラム共和国	2017/5/2	2022/5/1	—
シーラーズ大学	イラン・イスラム共和国	2018/1/10	2023/1/9	—
イスラーム大百科事典編纂所	イラン・イスラム共和国	2018/1/21	2023/1/20	—
デリー大学 人文学研究科ヒンディー語専攻、社会科学研究科東アジア学専攻	インド	2015/10/27	2020/10/26	○
ジャワハールラー・ネルー大学 言語文学文化研究科	インド	2014/7/3	2024/7/2	○
ティラク・マハーラーシュトラ大学	インド	2014/7/22	2024/7/21	○
アル・ラニーリ・国立イスラーム大学 法学部	インドネシア共和国	2018/9/12	2023/9/11	○
ウダヤナ大学 文学部、言語学研究科、文化研究科	インドネシア共和国	2015/8/26	2020/8/25	○
スナン・カリジャガ国立イスラーム大学ジョグジャカルタ校 大学院、法学部	インドネシア共和国	2015/9/15	2020/9/14	—
アンダラス大学 人文学部	インドネシア共和国	2016/8/1	2021/7/31	○
タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学言語学院	ウクライナ	2018/11/30	2023/11/29	○
サマルカンド国立大学	ウズベキスタン	2017/10/4	2022/10/3	○

アスワン大学 言語学部	エジプト・アラブ共和国	2016/7/11	2021/7/10	○
カイロ大学 文学部	エジプト・アラブ共和国	2016/9/18	2021/9/17	○
ストックホルム大学 アジア・中東・トルコ学部	スウェーデン王国	2017/4/3	2022/4/2	○
ベオグラード大学 文献学部	セルビア	2015/6/30	2020/6/29	—
コーンケン大学 人文社会学部	タイ王国	2017/3/23	2022/3/22	○
シラパコーン大学 文学部	タイ王国	2017/3/15	2022/3/14	○
チュラロンコーン大学 アジア研究所	タイ王国	2018/4/3	2023/4/2	○
ランシット大学	タイ王国	2013/9/12	2023/9/11	○
マヒドン大学教養学部	タイ王国	2019/5/24	2024/5/23	○
カセサート大学人文学部	タイ王国	2019/6/28	2024/6/27	○
国立高雄科技大学外語学部	台湾	2015/4/30	2020/4/29	○
国立台湾師範大学文学部	台湾	2019/3/29	2024/3/28	○
国立成功大学 ベトナム研究センター	台湾	2019/11/21	2024/11/20	—
華中師範大学 国際文化交流学院、外国語学院、言語と言語教育研究センター	中華人民共和国	2010/3/4	2020/3/3	○
上海外国語大学 日本文化経済学院、国際文化交流学院	中華人民共和国	2013/7/25	2023/7/24	○
大連理工大学 外国語学院・国際教育学院	中華人民共和国	2017/7/5	2022/7/4	○
西北大学文学院	中華人民共和国	2019/11/4	2024/11/3	○
南デンマーク大学 人文学部	デンマーク王国	2015/8/21	2020/8/20	○
ハイデルベルグ大学日本学研究所	ドイツ連邦共和国	大学間交流協定に基づく部局間 学生交流覚書締結		○
フランクフルト応用科学大学	ドイツ連邦共和国	2016/11/1	2021/10/31	○
ウェリントン・ヴィクトリア大学	ニュージーランド	2017/10/20	2022/10/19	○
ベルゲン大学 文学部	ノルウェー王国	2016/2/24	2021/2/23	○
ガヴァメント・カレッジ大学	パキスタン・イスラム共和国	2013/1/29	2023/5/5	—
パンジャーブ大学 オリエンタルカレッジ	パキスタン・イスラム共和国	2014/5/30	2019/5/29	—
ラーホール女子大学 イスラーム・東洋学研究科	パキスタン・イスラム共和国	2020/1/1	2024/12/31	—
カーロリ・ガーシュパール カルビン派大学 文学部	ハンガリー共和国	2017/10/5	2022/10/4	○
セゲド大学 文学部	ハンガリー共和国	2020/2/19	2025/2/18	○

フルミネンセ連邦大学	ブラジル	2017/1/26	2022/1/25	○
ソフィア大学	ブルガリア共和国	2007/10/1	2021/7/27	—
ハノイ大学	ベトナム社会主義共和国	2015/4/27	2025/4/26	○
ハノイ師範大学	ベトナム社会主義共和国	2015/5/5	2020/5/4	○
ハロン大学	ベトナム社会主義共和国	2018/4/19	2023/4/18	○
ホーチミン市師範大学	ベトナム社会主義共和国	2019/1/18	2024/1/17	○
ホーンバーン国際大学	ベトナム社会主義共和国	2018/3/6	2023/3/5	○
ベトナム社会科学アカデミー 言語学院	ベトナム社会主義共和国	2014/9/22	2024/9/21	—
ベトナム辞書学センター	ベトナム社会主義共和国	2014/9/23	2024/9/22	—
ホアセン大学 (社会科学部)	ベトナム社会主義共和国	2019/12/20	2024/12/19	○
ヤギェロン大学 文献学部	ポーランド共和国	2007/10/1	2021/10/2	—
マンダレー大学	ミャンマー	2019/5/23	2024/5/22	○
ノボシビルスク国立大学 人文学部	ロシア連邦	2015/4/28	2020/4/27	—
ウラル連邦大学	ロシア連邦	2016/9/28	2021/9/27	○
ハカス言語・文学・歴史研究所	ロシア連邦	2013/3/18	2023/3/17	—
モスクワ言語大学	ロシア連邦	2009/8/14	2024/8/13	○

○連携協定

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

(締結日：平成21年11月16日、有効期間：令和3年3月31日)

○外国人研究者等受入れ状況

<言語文化専攻> 平成31(2019)年4月1日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入教員	受入期間(開始)	受入期間(終了)
------	----	----	----	-----	------	----------	----------

ドイツ	ライプニッツ理論言語学研究所	副研究所長、プロジェクトグループリーダー	言語と論理的思考の発達に関する研究	大阪大学	宮本陽一	2019. 4. 1	2020. 3. 31
米国	ライス大学	教授	能格言語と体言化理論に関する研究	日本学術振興会	田村幸誠	2019. 10. 16	2019. 12. 14

＜言語社会専攻／日本語・日本文化専攻＞平成31（2019）年4月1日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入教員	来訪期間（開始）	来訪期間（終了）
パキスタン・イスラム共和国	ハーネーワール大学	常勤講師	ウルドゥー語の共通語化に関する研究	パキスタン・パンジャーブ政府高等教育局	山根 聡	2018. 10. 15	2019. 7. 25
米国	コロンビア大学	Assistant Professor	20世紀日本におけるし尿処理システムと有機物循環の変容	日本学術振興会	深尾 葉子	2019. 3. 15	2020. 9. 14
中国	嘉興学院	講師	日中の言語対照研究と文化交流について	日本学術振興会	古川 裕	2019. 7. 31	2021. 7. 30
カナダ	Mount Allison University	Associate Professor	A Nightmare in the Making: Sacrificial Death, Gendered Nationalism and Children's Media in Japan, England, and America, 1890-1930	私費	杉田 米行	2019. 9. 5	2020. 3. 24
フィンランド	University of Oulu	Lecturer	Research for a journal article concerning re-education of American soldiers for the occupation of Japan.	私費	杉田 米行	2019. 9. 14	2019. 10. 15
韓国	光州教育大学校	教授	1763年朝鮮通信使に関する研究	私費	酒井 裕美	2020/1/28	2020/2/27

○国際研究活動

<言語文化専攻>

大阪大学国際共同研究促進プログラム (タイプ A) : 言語と論理的思考の発達に関する研究 (04/2018-03/2021)	
研究科教員名	宮本 陽一
開催日	ライブニッツ理論言語学研究所メンバー来日 (07/2019-08/2019 (2 名), 11/2019 (1 名))
開催場所	言語文化研究科 (豊中) (07/2019-08/2019, 11/2019)
概要	実験語用論の側面に焦点を当てた「量化」に関する国際共同研究である。期間中、独側共同研究メンバーによる実験語用論に関する講義ならびに共同研究プロジェクトごとの打合せを実施した。また、独側メンバーとともに吹田キャンパス・たけのこ保育園にて4歳児, 5歳児を対象に実験を行った。ここまでの共同研究の成果は、Boston University Conference on Language Development 44 (Boston University), Degree Expressions and Polarity Effects (ZAS)等で公表されている。

科学研究費助成金基盤研究 B 特別講演会企画	
研究科教員名	西田理恵子
開催日	令和1年5月13日, 令和1年10月16日
開催場所	大阪大学大学院言語文化研究科
概要 (200字以内)	科学研究費助成金事業基盤研究 B での企画のもと、当該分野において世界的に著名な2名の研究者をお招きして特別講演企画を実施している。まず、2019年5月に Sarah Mecer 氏 (University of Graz)を招待し「Positive language education: teaching language and life competences」と題して特別講演会を行った。更に、同年10月には Peter McIntyre 氏 (Cape Breton University)を招待し「Anxiety, enjoyment and the need to understand emotions in the L2 classroom」と題して特別講演企画を行った。学内外の教員・学生を含む多くの参加者があり、活発な議論が繰り広げられたため有意義な場となった。

ドイツ・ヴュルツブルク大学デジタルヒューマニティーズ研究班との共同研究「文学テキストにおけるコンプレキシティの計量言語学的研究」	
研究科教員名	田畑 智司
開催日	平成 31 年 4 月 2 日～令和 2 年 3 月 26 日（14 回開催）
開催場所	オンラインでのビデオ会議
概要	本研究科とヴュルツブルク大学各々のデジタルヒューマニティーズ研究班による共同研究。計量言語学的アプローチによって文学テキストにおける complexity の問題に光を当てる取組みであり、英・独・仏・西語、日本語、中国語で書かれた文学作品コーパスを対象とする多言語横断研究である。当年度は 14 回のオンライン会議を行い、語彙密度とテキストのコンプレキシティとの関係を詳細に調査した。

科学研究費助成金基盤研究 B ラウンドテーブル企画	
研究科教員名	西田理恵子
開催日	令和 1 年 11 月 18 日
開催場所	大阪大学言語文化研究科
概要 (200 字以内)	科学研究費助成金事業基盤研究 B での企画のもと、ラウンドテーブルを実施した。近年国内外で注目を集めている CLIL(内容言語統合型学習)の専門家であり第一人者でもある Christine Dalton-Puffer 氏 (University of Vienna) を招待し「What can empirical research tell us about CLIL implementations? -Mapping the landscape」と題して、CLIL に関するラウンドテーブルを少人数で行っている。教員・学生が参加し、質疑応答を通して多くの議論が繰り広げられた。

国際学術誌、Revue des Amis de Ronsard, XXXI の刊行	
研究科教員名	岩根 久 林 千宏
開催日	令和元年 8 月 30 日(出版日)
開催場所	
概要 (200 字以内)	カナダ、スイス、日本、フランスの研究者と協力し、国際学術誌、Revue des Amis de Ronsard, XXXII を刊行した。

マックス・アンガマル (Max Engammare) 先生講演会	
研究科教員名	林 千宏
開催日	令和元年 10 月 21 日
開催場所	大阪大学 文学部本館 2 階大会議室
概要 (200 字以内)	スイスの学術出版社ドロ社 (Éditions Droz) のディレクターも務めるカルヴァンの草稿研究第一人者を招聘し、若手研究 (課題番号: 18K12342) にかかわる講演会「凶像(アイコン)から『凶像集(イコネス)』へ ロンサール、ベーズにおける文学的肖像と描かれた肖像」を行った。本学教員、学外からの研究者、学部生、院生など 40 名近くの参加者があった。

マックス・アンガマル (Max Engammare) 先生講演会	
研究科教員名	林 千宏
開催日	令和元年 10 月 26 日
開催場所	近畿大学東大阪キャンパス B 館 2 階 201 教室
概要 (200 字以内)	スイスの学術出版社ドロ社 (Éditions Droz) のディレクターも務めるカルヴァンの草稿研究第一人者を招聘し、日本フランス語フランス文学会 2019 年度秋季大会にて「美女の創造 『聖杯の探索』からアンドレ・ジッドに至るバテシバの文学的表象」と題した講演会を行った。日本フランス語フランス文学会会員 100 名近くの参加があった。

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

古代クルグズ時代に関する遺跡碑文に関する日本・ロシア国際共同調査	
研究科教員名	大澤 孝
開催日	2019年4月27日～2019年5月7日
開催場所	ロシア連邦ハカス共和国
概要	本調査は、大阪大学大学院言語文化研究科とロシア連邦ハカス言語歴史文学研究所との学術協定に基づき、同研究所の研究者と共同でハカス共和国のイエニセイ河中上流域の草原において、古代クルグズ時代の遺跡・碑文に関する表面調査を実施した。

東部モンゴルの古代テュルク時代の遺跡碑文に関する日本・モンゴル国際共同調査	
研究科教員名	大澤 孝
開催日	2019年6月15日～2019年6月26日
開催場所	モンゴル国ヘンタイ県、ドルノド県
概要	本調査では、国際共同加速基金 B の代表者である大澤孝とモンゴル科学アカデミー考古学研究所との学術協定に基づく国際共同調査の一環として、同研究所の研究者と共同でモンゴル国東部のドルノド県からヘンタイ県における古代テュルク時代の遺跡・碑文に関する表面調査を実施した。

東部モンゴルの古代遊牧民の遺跡碑文に関する日本・モンゴル国際共同調査	
研究科教員名	大澤 孝
開催日	2019年9月2日～2019年9月24日
開催場所	モンゴル国スフバートル県
概要	本調査では、国際共同加速基金 B の代表者である大澤孝とモンゴル科学アカデミー考古学研究所との学術協定に基づく国際共同調査の一環として、同研究所の研究者と共同でモンゴル国東部のスフバートル県テブシンシレー郡のデルゲルハーン山の西方に位置する古代遊牧民に関連するイフ・オンドゥル・ドブジョー（基壇）遺跡の発掘調査を実施した。また近郊の岩山に刻まれた古代文字碑文について表面調査を実施した。

古代クルグズ時代に関する遺跡碑文に関する日本・ロシア国際共同調査	
研究科教員名	大澤 孝
開催日	2019年9月29日～2019年10月7日
開催場所	ロシア連邦ハカス共和国
概要	本調査は、大阪大学大学院言語文化研究科とロシア連邦ハカス言語歴史文学研究所との学術協定に基づき、同研究所の研究者と共同でハカス共和国の北部地方の岩山やイエニセイ河中上流域の草原において、古代クルグズ時代の遺跡・碑文に関する表面調査を実施した。

Türkiye'de Japonya Çalışmaları Konferansı IV (Japanese Studies in Turkey Conference IV)	
研究科教員名	宮下 遼
開催日	2019年6月28日～29日
開催場所	ボアズィチ大学、イスタンブル、トルコ共和国
概要	トルコ日本研究学会は、トルコ共和国における日本研究者の交流と研究発展を企図する学会組織である。今次の第四回大会においては史学、政治、文化、文学のメイン4セッションが組織され、二日間で30名あまりの研究発表が行われた。小職は大会冒頭の基調講演を担当し、日本におけるトルコ研究を主に文学研究、翻訳研究の観点から概観した。

ストックホルム大学の Livia Oláh 准教授による特別講義	
研究科教員名	高橋 美恵子
開催日	2019年6月24日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス
概要 (200字以内)	ストックホルム大学社会学部から Livia Oláh 准教授（人口学）を招き、特別講義を開催した。氏が統括コーディネータである EU の大型プロジェクト “FamiliesAndSocieties” で得られた知見について、「変容する家族と持続可能な社会：教訓と課題」というテーマで講義を行った。

Södertörn 大学の Robin Samuelsson 氏による特別講義	
研究科教員名	Ulf Larsson
開催日	2019 年 10 月 17 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス
概要	スウェーデンの Södertörn 大学から Robin Samuelsson 氏を招き、スウェーデンの就学前教育に特別講義を行った。氏の博士論文の研究テーマを基に、Den svenska förskolemodellen: Lärande mellan lek och undervisning というテーマで話された。

劇作家・演出家の Bernt Höglund 氏によるゲスト講義	
研究科教員名	梅谷 綾, 高橋 美恵子
開催日	2019 年 5 月 22 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス
概要	劇作家・演出家の Bernt Höglund 氏が来校され、「スウェーデンの演劇と文化政策」というテーマでゲスト講義が行われた。同氏はスウェーデンをはじめ北欧の多くの劇場やオペラハウスで子どもや若者のための作品を手掛けており、講義では主にスウェーデンにおける児童演劇について講義を行った。

東アジアスウェーデン語教師会議 (Svensklärarkonferens i Osaka)	
研究科教員名	高橋 美恵子, Ulf Larsson, 古谷 大輔, 當野 能之
開催日	2019 年 11 月 14 日～16 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス・千里朝日阪急ビル
概要	スウェディッシュ・インスティテュートと大阪大学スウェーデン語研究室の共催で、Svensklärarkonferens i Osaka (東アジアスウェーデン語教師会議) を開催し、東アジアでスウェーデン語を教授している大学 (大阪大学、東海大学、上海外国語大学、湖北大学、香港大学、韓国外国語大学) から教員が集まり、スウェーデン語教育についての意見交換を行った。また、スウェーデンの Södertörn 大学から Lina Nyroos 講師と Karin Milles 講師を招いた特別講演も行った。 https://svenskaspraket.si.se/evenemang/svensklararkonferens-i-osaka-japan/

ヨーロッパ日本語教師会 AJE 主催 第 23 回 AJE 国際シンポジウムの基調講演	
研究科教員名	眞嶋 潤子
開催日	2019 年 8 月 28 日～30 日
開催場所	セルビア ベオグラード大学
概要	欧州内外から日本語教育研究者が集まる標記の国際シンポジウムにおいて、初日の基調講演者として「グローバル化がローカルな日本語教育に与える影響について」というテーマで講演した。事後にインタビューを受け、このシンポジウムの様子と共に、セルビアのプライム・ニュースでテレビ放映された。またこの機会を契機として、ベオグラード大学から委託研究の形で、本学でセルビア語の授業を開講することが可能となった。

International Conference on <i>uitemate</i> 2019	
研究科教員名	永原 順子
開催日	2019 年 11 月 21 日～23 日
開催場所	Promenade Hotel Kota Kinabalu, University Malaysia Sabah, Malaysia
概要	水難学会は「水難事故に遭遇したとき背浮きの状態で救助を待つ」という自己救助法“ういてまで”を日本国内および東南アジア諸国に普及することに尽力している。今回の会議では、タイ、フィリピン、スリランカ、インドネシア、マレーシア、日本、の専門家、研究者が、各国の水難事故の現状と統計、水難事故防止教育に与える怪異伝承の功罪、 <i>uitemate</i> 普及状況等について議論し、学生を対象とした <i>uitemate</i> 講習会を実施した。